

Ⅱ 事業の概要

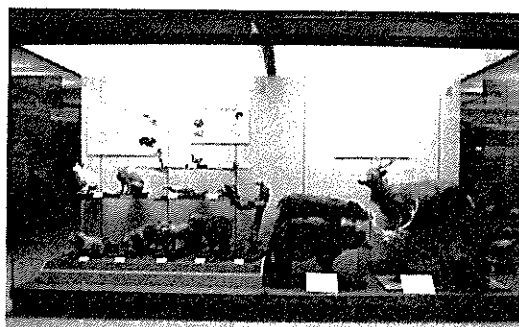
1 常設展

常設展示を構成する資料表

区分	実物資料標本類	ジオラマ 機器模型類	カラー透視写真 および写真	図板	計
地学	680	22	13	28	743
生物	1,280	5	29	37	1,351
考古	延 858	延 7	延24	延34	延 923
民俗	224		20	18	262
美術	延 156				延 156
史料	65	4	6	7	82
計	3,263	38	92	124	3,517

(1) 地学展示室 (258 m²)

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 県内の地質時代の出来事を岩石の分類と偏光投影観察装置を使用し解説。
- 各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか県内外の化石）。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- 鉱物の特性を結晶系と化学組成分類にて解説、また県内外の有用鉱物を鉱床と関連づけて展示。
- 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達の見学展示。



生物展示室

(2) 生物展示室 (257 m²)

- 大山と砂丘の生物の垂直および水平分布とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物の生態と分布(ジオラマ)を解説展示。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示(ジオラマ)。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分布解説と分類展示。
- オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 県内産のけものをはじめ外国産の鳥獣の展示。
- 貝類の生息環境による分類とくに、海産は南方、北方などの海域別に展示、ほかに陸産、淡水産の展示。
- 昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボなど）。
- 植物の分類展示（樹幹、帰化植物、シダ、海藻、およびキノコ）。季節による入れ替え。

(3) 考古展示室 (258 m²)

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。

- ・弥生時代の遺物と時代編年および文化交流などの解説展示。
- ・古郡家一号古墳をはじめ古墳の一括資料の解説展示。
- ・県内出土の須恵器を時代編年ごとに分類展示。
- ・古墳時代の生活用具の復元展示(かまど三点セットなど)。
- ・銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- ・県内出土の代表的なはにわ(鹿、家、水鳥など)の展示。
- ・古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、経塚出土の経筒などの展示。
- ・「古代の窓」では「斧」、「ハンボ塚」をテーマに関係資料を解説展示。



古代の窓 (ハンボ塚)

(4) 民俗展示室 (257 m²)

- ・江戸時代末から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- ・芸能娯楽用具として、人形芝居、きりん獅子、郷土玩具、影絵などを解説展示。
- ・生産コーナーでは「山村と生業」のテーマで、県内でみられた炭焼き、紙すき、うるしの採取など伝統的な山村の生産生活を木馬などの関係資料により解説展示。
- ・灯器、発生的分類により初期の電球までを展示。
- ・日用品、交易、化粧、食器、その他日用品の分類展示。
- ・つのだる、婚礼に使用された各種つのだるとほかいなどの展示。
- ・年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。



生産コーナー (山村と生業)

(5) 美術展示室 (260 m²)

- ・絵画…鎌倉時代以降の仏画、江戸時代の鳥取藩絵師等の掛幅、屏風を展示。
- ・彫刻…平安時代から鎌倉時代の国、県指定の仏像等を展示。
- ・書跡、重要文化財の金字法華経、巻二、巻四を展示。
- ・工芸…平安時代以降の国・県指定の金工品、請来品の中国陶磁器、江戸時代の郷土の陶器及び染色型紙を展示。

主な展示資料 ◎重要文化財 ○重要美術品 ●保護文化財

《絵画》

(日本画)

片山楊谷	老松双鶴図	軸	装	江戸	個人蔵	黒田稲卓	花鳥図	六曲一双	江戸	個人蔵
狩野益信	梅二寿老人図	〃	〃	〃	本館蔵	小畑稻升	群鯉之図	軸 装	江戸~明治	本館蔵
狩野山雪	人丸図	〃	〃	〃	〃	〃	遊鯉之図	軸 装	江戸	個人蔵
狩野常真	老子・孔子図	双	副	〃	〃	島田元旦	秋景山水図	〃	〃	本館蔵
狩野永真	布袋図	軸	装	〃	〃	〃	花鳥図	六曲一双	〃	個人蔵
狩野有信	山水富士図	〃	〃	〃	〃	土方稲嶺	菊慈童図	軸 装	〃	本館蔵
狩野邦信	布袋図	〃	〃	〃	〃	〃	牡丹孔雀図	〃	〃	個人蔵
狩野幸信	梅二鶴図	〃	〃	〃	〃	〃	風雪三顧図	〃	〃	〃
黒田稲卓	千匹鯉図	〃	〃	〃	〃	根本幽峨	楼閣山水図	六曲一双	〃	〃

根本幽峨 瀑布図 軸 装 江戸 本館蔵

(洋画)

伊谷賢蔵	室内裸婦	一面	昭和	本館蔵
〃	万年山早春	〃	〃	〃
遠藤 董	清水彦五郎像	〃	明治	〃
〃	こどもし	〃	〃	〃
国頭繁次郎	十字架より降ろすキリスト	〃	昭和	〃
香田勝太	初 雪	〃	〃	〃
笹鹿 彪	風車にいどむ	〃	〃	〃
〃	プロメテ	〃	〃	〃
中井金三	河 岸	〃	大正	倉吉博物館蔵
〃	鳥のある静物	〃	〃	〃
前田寛治	立てる子供	〃	〃	本館蔵
〃	西洋婦人像	〃	〃	〃
〃	少女坐像	〃	昭和	〃
〃	棟梁の家族	〃	〃	〃
〃	仰臥裸婦	〃	大正	〃
〃	男の像	〃	〃	〃
松田晃八	山王の森	〃	昭和	〃
森岡柳蔵	風 景	〃	大正	倉吉博物館蔵
安岡信義	夏の河岸	〃	明治	本館蔵
〃	杖を持つ男	〃	大正	〃



瀑布図(根本幽峨筆)

(仏画)

愛染明王図	絹本	鎌倉	智頭町豊乗寺蔵	十二天図	紙本	室町	智頭町豊乗寺蔵
不動明王図	〃	〃	〃	五大明王図	絹本	鎌倉	用瀬町大安興寺蔵
釈迦十羅刹女図	〃	室町	〃	不動明王図	〃	〃	個人蔵

《彫刻》

◎毘沙門天立像	木造	平安	日野町長楽寺蔵	○十一面観音立像	鉄造	鎌倉	西伯町加祥区蔵
◎日光菩薩立像	〃	〃	〃	○聖観音立像	〃	〃	〃
◎月光 〃 〃	〃	〃	〃	●稲荷像	木造	江戸	倉吉市円谷地区蔵
◎薬師如来坐像	〃	〃	〃	●大日如来坐像	〃	平安	若桜町永福寺蔵
◎不動明王立像	〃	〃	〃	つどい(長谷川塊記作)	ブロンズ	昭和	本館蔵
◎蔵王権現立像	〃	〃	三朝町三仏寺蔵	裸 (早川巍一郎作)	〃	〃	〃

《書跡》

◎金字法華経(卷二・卷四)	鎌倉	鳥取市大雲院蔵
---------------	----	---------

《工芸》

◎銅 鏡	平安	三朝町三仏寺蔵	●青磁香炉	元	関金町地藏院蔵
●飾太刀	江戸	鳥取市栲谿神社蔵	●銅擬宝珠(二口)	南北朝	〃
●染織布	明	鹿野町譲伝寺蔵	●銅罌口	室町	国府町清泉寺蔵
●銅梵鐘	南北朝	岩美町網代地区蔵			

(6) 史料展示室

鳥取の町人「町の記録」を展示。

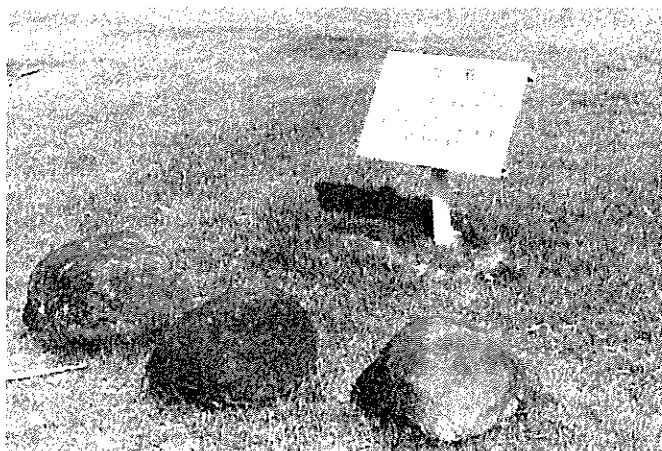
鳥取は、因幡国、伯耆国における唯一の城下町として栄えたがたび重なる災害で町の記録の多くを失った。池田家史料の中から町の成り立ち、しくみ、町人のくらしを示す記録・地図などの関係史料により、城下の中で最も活気があった商工業者の住む町屋を解説展示した。



史料展示室

(7) 野外展示

古墳時代の石棺、カ石などを展示した。



カ石

(8) 新着資料展示コーナー

分野	テーマ	期間	内容
地学	肉食恐竜タルボザウルス	55. 4. 1～6. 6	タルボザウルス頭骨
	実験放送「ゆり号」	4. 1～7. 9	実験放送「ゆり号」の受像
民俗	日本酒のできるまで	6. 7～9. 1	酒造工程模型
動物	剥製標本	9. 2～10. 1	コサギ、アマサギ、ビロードキンクロ
♪	生きている化石オキナエビス	10. 2～12. 1	リュウグウオキナエビスなど5点
♪	熱帯の甲虫	12. 2～56. 2. 3	熱帯地方に生息するテナガカミキリなど17点
地学	日南町多里地方の化石	2. 4～3. 31	ハボウキガイ科の貝など10点



熱帯の甲虫

●催物展

(1) 古文書展一因・伯の木綿一

会期 昭和55年7月13日(日)～7月20日(日)

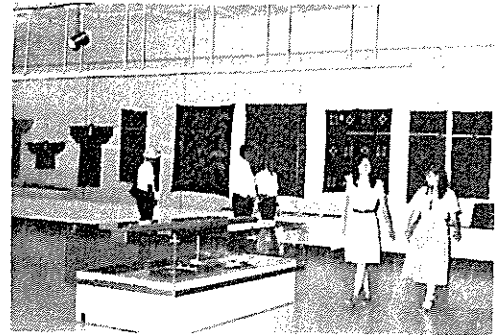
会場 第3展示室

地域研究への関心を高め、当館所蔵の鳥取藩池田家史料等の理解と活用促進をはかるため、海賊衆(水軍)関係史料、朝鮮の役関係で全国的にも貴重な史料として注目を集めている「菅家文書」、着座という鳥取藩の最高の家格で家老職を勤めた家であった「乾家文書」並びに、因・伯木綿関係資料等約160点を展示した。

展示資料

菅家文書、乾家文書、古地図(伯耆の国を中心)

上林家文書、在方諸事控、新田部屋諸事控、倉吉ガスリ、浜ガスリ、はたおり機、紡車等木綿生産用具、藍玉、型紙等染色用具



古文書展

(2) 自然資料展

会期 昭和55年8月2日(土)～8月31日(日)

会場 第3展示室

自然への関心を高めるため又夏休みにおける児童・生徒の学習に寄与するために、本館所蔵資料、寄託資料の中から、自然関係資料約650点を展示した。

展示資料

日本と外国の野鳥、滅びゆく野鳥	}	400点
日本と外国のけだもの、世界の蝶、沿岸の貝		
海そう、きのこ、シダ植物		90点
古・中生代の化石、鳥取県の隣接地の化石		100点
大西万次郎(元早大講師)コレクション、南極大陸の鉱物など		58点

(3) 旧鳥取駅資料展

会期 昭和56年3月7日(土)～3月22日(日)

会場 第3展示室

鳥取駅高架にともなって解体された旧鳥取駅の鉄道関係資料を展示し、山陰線開通から今日までの鳥取駅の発展の様子を紹介した。

展示資料

旧鳥取駅資料……レール、時刻標、駅名標、切符、合図灯、制服など 93点

駅の移り変わりを示す資料……駅舎、開通・高架祝賀記念、航空写真など写真類 18点

その他記念品など…高架開通記念品、各種記念切符類、機関車模型など 43点

2、特別展(館主催)

(1) 日本の人形文化展

主催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後援 鳥取県各市町村教育委員会

会期 昭和55年4月26日(土)～5月25日(日) 無休

会場 第1展示室、第2展示室

入館者 6,926人

入館料 一般 500円(団体 400円)、高校生 300円(団体 200円)、小・中学生 200円(団体 100円)

神寄せや厄除けなど人々の祈りから生まれ信仰用具として用いられた人形が、現在の玩具、芸能娯楽人形に発展するまでの移り変わりを5つのテーマで取りあげ、わが国の風土の中で培われてきた人形とその文化を約220点の資料で紹介した。

主な展示資料

〈人形の源流〉

削りかけ(神奈川県)、大の子(静岡県)(国立民族学博物館蔵)
おしんめさま(福島県)(会津民俗館蔵)、おしらさま(岩手県)
(大船渡市立博物館保管)、うそ(福岡県)(西伯町教育委員会蔵)、猿(鳥取県)(本館蔵)

〈厄除け人形と行事〉

天児、這子(京都府立総合資料館蔵)、さいのかみ(群馬県)
さねもり(広島県)、火の神(鹿児島県)、しゅんなめじよ(熊本県)
実盛さん(岡山県)、大助人形(茨城県)(国立民族学博物館蔵)
道祖神(長野県)、三九郎(長野県)、流しびな型(長野県)
(日本民俗資料館蔵)、さんねんもり(鳥取県)(本館蔵)

〈節句びなの移り変わり〉

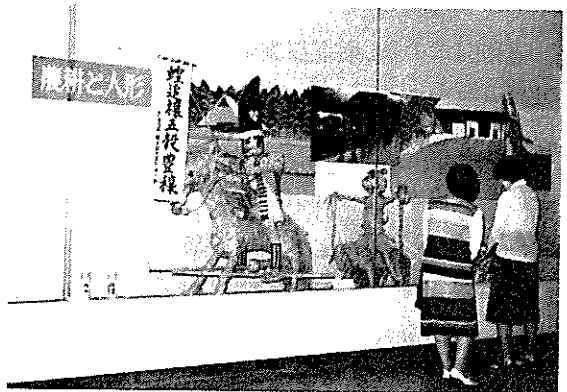
糸びな(鹿児島県)、加茂人形、雛壇(素鳳館蔵)
立びな(和歌山県)、有職びな、次郎左衛門びな、一文びな、立姿美人形、童子立姿像(京都府立総合資料館蔵)
ひめごじよ(長崎県)、青島びな(宮崎県)、ひいな草人形(国立民族学博物館蔵)、古今びな、享保びな、御所車行列
(大阪市立博物館蔵)、犬だき女(鳥取県)、牛乗り天神(島根県)、土天神(鳥取県)、大黒(鳥取県)、海老あげえびす
(鳥取県)(西伯町教育委員会蔵)、流しびな(鳥取県)、立ちびな(鳥取県)、田舎びな(鳥取県)(本館蔵)

〈芸能人形と祭り〉

傀儡子(細男人形、相撲人形など)(福岡県)(八幡古表神社蔵)
ひんここ人形(岐阜県)(国立民族学博物館蔵)、浄瑠璃人形
(鳥取県)(相生人形保存会蔵)、浄瑠璃人形(智頭町新田地区蔵)
茶運び人形(愛知県)(玉屋庄兵衛作)、聖王人形(愛知県)
唐子人形(愛知県)、采振り人形(愛知県)(小牧市横町蔵)
竜神唐子人形(愛知県)、大鼓(愛知県)(名古屋市新出来町蔵)
茶運び人形(愛知県)(市立名古屋科学館蔵)、面かぶり巫女人形
(愛知県)(名古屋市筒井町蔵)、からくり人形(島根県)(素鳳館蔵)
名古屋東照宮神事山車引出之図、山車人形行列図、福祿寿車
(模型)、名古屋祭山車図(名古屋市博物館蔵)、機巧図彙
(名古屋市蓬左文庫蔵)

〈子供の遊びと人形〉

姉さま人形(島根県)、べんた人形(熊本県)、相撲人形(福岡県)
(西伯町教育委員会蔵)、三つ折れ人形(素鳳館蔵)、きびから姉さま(鳥取県)、はこた人形(鳥取県)、面かぶり人形
(鳥取県)、要蔵でこ(鳥取県)(本館蔵)



会場風景



からくり人形(小牧市横町蔵)

(2) 第11回日展

主 催 鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会、新日本海新聞社、山陰中央新報社、NHK鳥取放送局、山陰放送
NHK米子放送局、日本海テレビ放送、山陰中央テレビ放送

会 期 昭和55年6月14日(土)～7月6日(日)無休

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室、美術展示室

入館者 12,302人

入館料 一般 500円(団体 400円)、高校生 300円(団体 200円)、小・中学生 200円(団体 100円)

昭和54年の秋、東京都美術館で開催した総数2,657点の出陳作品のうちから巡回作品325点と鳥取・島根県在住者及び但馬地方在住者の作品22点の地元作品を加え、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門347点を展示した。なお、本県では昭和48年、52年について3回目の開催である。



会 場 風 景

展示内容

○陳列点数

()は地元作品で内数

部 門	日 本 画	洋 画	彫 刻	工 芸 美 術	書	計
点 数	76 (2)	104 (8)	51 (1)	60 (5)	56 (6)	347 (22)

主な出品作家 (○は鳥取県出身者)

〈日本画〉

池田 遙邨 堰	奥田 元宋 嶋
高山 辰雄 小 女	西山 英雄 野 火
橋本 明治 紅	○浜田 台児 女弁護士
三谷十糸子 林の朝	山口 華楊 幻 花

〈洋 画〉

井手 宣通 馬で来た花嫁	国領 経郎 襷
小山 敬三 薄暮千曲の流れ	新道 繁 松
鈴木千久馬 霞草と裸少女	田崎 廣助 水郷風景
中村 善策 信濃明科	森田 茂 社

〈彫 刻〉

北村 西望 天女の笛	木下 繁 裸 婦
澤田 政廣 彌勒菩薩	清水多嘉示 飛 躍
富永 直樹 若き日のシーボルト	松田 尚之 手鏡を持つ娘

〈工芸美術〉

海野 建夫 白雉不動	楠部 彌次 彩毘惜春
清水六兵衛 銀白洵刻文「秋趣」	帖佐 美行 萌える生命
三浦 景生 牡丹之図	山崎覚太郎 深 秋

〈 書 〉

安藤 聖空 高 杉	青山 杉雨 鳳は群れず
-----------	-------------



女弁護士 (浜田台児作)

斉藤 吉郎 愛と喜びの賛歌
圓鋸 勝三 ベーゼント
分部 順治 寛

佐野 猛夫 游
番浦 省吾 潮 文
山脇 洋二 狩 人

大石 隆子 冬の空

金子 鷗亭 自作俳句雙湖
廣津 雲仙 禪 語

金田 心象 莊 巖
日比野五鳳 すずめ

西川 寧 尊中若下
村上 三島 季延是詩

地元作家 (○鳥取県出身者、●島根県出身者、△その他)

〈日本画〉

●小豆沢 禮 森の道 ○寺島 節朗(京都在住) 明ける

〈洋画〉

●有馬 侃 安来節 ○高須 登 奉獻大経堂 ○福島 隆壽 瀬戸内,79
●井上 陽照 人形のある静物 ●鳥屋尾孝吉 土蔵の一隅 ●松田 忠一 三月堂佛像
○亀田 正一 調理場の一隅 ●中川 茂 無人灯台

〈彫刻〉

○入江 甲 水 鏡

〈工芸美術〉

○揚妻淑子(神奈川在住) Construction "U" "V" ○大坪重周(東京在住) 小ホールの為めの飾り ○矢部 雅一 波礁Ⅲ

○上田 泰江 秋咲く花 ○南 祥輝(京都在住) 乾漆朱盛器

〈書〉

○佐波壽峯(東京在住) 次韻楊禮曹秋日 ●園山 硯峯 つ き △細川 泰翠 蘇東波の詩
○須崎 海園(大阪在住) 蘇軾詞 ○古沢 宕邨 杜甫詩 ●米沢 天崖 西脇順三郎の詩

(3) 関西洋画の名作展

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

会 期 昭和55年10月18日(土)～11月9日(日) (無休)

会 場 第1展示室、第2展示室

入館者 6,528人

入館料 一般 500円(団体400円)、高校生 300円(団体200円)、小・中学生 200円(団体100円)

本県出身の洋画家伊谷賢蔵は、終始京都に在って活躍しその画業は高く評価されている。今年は伊谷賢蔵没後10年にあたり、これを記念して明治から今日まで関西洋画壇の発展につくした画家の名作107点を展示し関西洋画の歩んだ道程を紹介した。

出品目録

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 田村 宗立 海岸風景図 | 11 都島 英喜 諸 寄 村 |
| 2 浅井 忠 グレーの柳 | 12 〃 南 仏 風 景 |
| 3 〃 中沢岩太像 | 13 〃 巴 里 郊 外 |
| 4 〃 漁村の少女 | 14 鹿子木孟郎 婦 人 像 |
| 5 松原三五郎 海 景 | 15 〃 裸 婦 |
| 6 山内 愚僊 長 閑 | 16 〃 海 岸 |
| 7 〃 金 屏 | 17 赤松 麟作 土 佐 堀 川 |
| 8 伊藤 快彦 少 女 像 | 18 〃 裸 婦 |
| 9 〃 厨 の 春 | 19 〃 画室の裸婦 |
| 10 〃 林 檜 | 20 津田 青楓 風 景 |



会 場 風 景

21	太田喜二郎	樹 蔭	62	佐伯 祐三	ノートルダム	85	伊谷 賢蔵	柘榴などの静物
22	〃	田 植	63	〃	肥後橋風景	86	〃	インカの町
23	金山 平三	秋	64	錦 義一郎	髪を洗う	87	〃	インカの遺跡
24	〃	北陸の海岸	65	〃	高雄風景	88	〃	ブレインカの城塞都市
25	霜鳥 之彦	十字架の前	66	北脇 昇	眠られぬ夜のために	89	〃	アンデス高原の女達
26	〃	パリ郊外シャトルの村	67	〃	流行現象構造	90	〃	朝市のインディオ達
27	斎藤 与里	春	68	伊庭伝治郎	静 物	91	〃	クスコの朝市
28	〃	稔る 春	69	〃	大崎風景	92	〃	万年山早春
29	青山 態治	雨 後	70	向井 潤吉	首飾りと婦人	93	〃	梅
30	国枝 金三	せんだんの木のある家	71	〃	残雪の村	94	〃	比叡山暮色
31	〃	遅 日	72	〃	丹波路向秋	95	小磯 良平	踊りの前
32	浜田 葆光	竹 柏 林	73	伊谷 賢蔵	室内裸婦	96	〃	ギターを弾く男
33	〃	水辺の鹿	74	〃	裸 婦	97	〃	朝のひととき
34	小出 樽重	西瓜のある静物	75	〃	焦土に甦る	98	吉原 治良	作 品
35	〃	フランス人形…顔	76	〃	築土建設	99	〃	〃
36	〃	卓上静物	77	〃	天橋小鳥の市	100	長谷川三郎	蝶の軌跡
37	黒田重太郎	スクアール・ド・ロ プセルバドアール	78	〃	大同石仏	101	〃	自 然
38	〃	やまどり	79	〃	雲崗石仏	102	伊藤久三郎	患者達
39	〃	平安春色	80	〃	瑠璃溪	103	〃	日
40	安井曾太郎	粟田口風景	81	〃	室内裸婦	104	小牧源太郎	民族病理学(祈り)
41	〃	宇治黄檗風景	82	〃	緑陰歓喜図	105	〃	印相陀羅尼
42	〃	秋の霞沢岳	83	〃	岬(山陰)	106	中村 真	青の生理
43	鍋井 克之	鴨飛ぶ湖畔	84	〃	立石山早春	107	〃	10:20:30
44	〃	刈田の雨						
45	梅原龍三郎	横臥裸婦						
46	〃	霧 島						
47	〃	赤絵の壺にばら						
48	〃	秋山烟景						
49	田中善之助	山 辺						
50	〃	少 女						
51	〃	赤い帽子の少女						
52	足立源一郎	穂高溪谷ドーム						
53	〃	春の谷川岳マチガ沢						
54	須田国太郎	校 倉(甲)						
55	〃	鶴						
56	〃	走 鳥						
57	川端弥之助	エッフェル塔						
58	〃	窓 の 雪						
59	林 重義	秋の山路						
60	善門 暁	作 品						
61	〃	万物すべて土にかえる						



雲崗石仏(伊谷賢蔵作)

3. 館外主催展

展覧会名	期 間	内 容	入館者数	主 催 者
松 田 晃 八 展	55. 4. 6 ~ 4. 15	絵画 112点	1, 006 [^]	鳥取西高美術部卒業生晃八会
ニューヨークADC鳥取展	4. 20 ~ 4. 27	デザイン 500点	1, 500	鳥取県デザイナー協会 J A G D A 鳥取
東部地区高校生芸術展	5. 19 ~ 5. 25	絵画、書、いけばな、工芸 102点	2, 283	国際ソロプチミスト鳥取
山陰書人社展	5. 31 ~ 6. 6 (6/4休み)	書 27点	670	山陰書人社
鳥取大学開学記念展	6. 3 ~ 6. 8 (6/4休み)	絵画、彫刻、工芸、書など 130点	686	鳥取大学
中国五県連合花展	9. 5 ~ 9. 8	いけばな 790点	15, 723	池坊中国五県連合支部
鳥取県美術展	9. 14 ~ 9. 23	絵画、書、写真、彫刻など 512点	(8, 013)	鳥取県教育委員会
鳥取県勤労者美術展	10. 25 ~ 10. 27	絵画、書、写真 120点	746	鳥取県
チャーチル会鳥取展	10. 29 ~ 11. 3	絵画 47点	1, 554	チャーチル会鳥取
日本伝統工芸東中国展	11. 5 ~ 11. 9	工芸 91点	858	岡山県教育委員会他
鳥取書道連盟展	11. 16 ~ 11. 22	書 159点	986	鳥取書道連盟
鳥取県デザイナー協会展	11. 20 ~ 11. 24	デザイン 69点	1, 000	鳥取県デザイナー協会
日仏現代美術展	12. 6 ~ 12. 14	絵画 71点	1, 300	日本海テレビジョン(株)他
鳥取県高等学校芸術文化祭美術展	12. 7 ~ 12. 13	絵画、デザイン、工芸など213点	1, 045	鳥取県高等学校美術教育研究会
正風遠州流山陰支部いけばな展	56. 3. 28 ~ 3. 29	いけばな 320点	3, 000	正風遠州流山陰支局
合		計	(8, 013) 32, 357	()は再掲で外数である

4 教育普及活動実施状況

博物館活動の一環として、館内外において巡回展(3地区)、天体観望会(3回)、見学会(6回)、標本の名前を調べる会(1回)、講演会(6回)、講座(8回)、映写会(3回)を実施した。

(1) 巡回展 「山陰海岸の生物展」

主 催 鳥取県立博物館 智頭町教育委員会 若桜町教育委員会 岩美町教育委員会

会場・会期・入場者

会 場	会 期	入 場 者
智 頭 町 中 央 公 民 館	55. 7. 23 ~ 7. 27	1, 524 [^]
若 桜 町 公 民 館	7. 31 ~ 8. 4	1, 150
岩 美 町 中 央 公 民 館	8. 7 ~ 8. 11	1, 756
合	計	4, 430

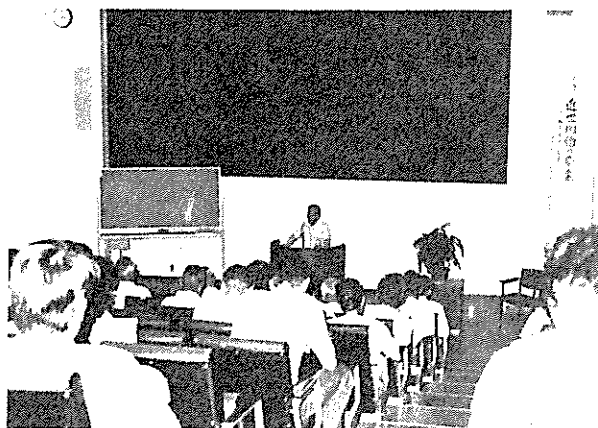
入場料 無 料

県内各地の教育、文化の振興をはかるため、昭和53年度は「鳥取県の洋画」、昭和54年度は「地球の歴史」を実施した。本年度は第3年次として魚、貝、海藻などの実物標本、解説パネル 185点により、美しい山陰海岸、砂浜の生物、岩礁の生物、海流と回遊魚、漂着した生物を取りあげ、海岸で生活する動植物や生活の様子を紹介した。

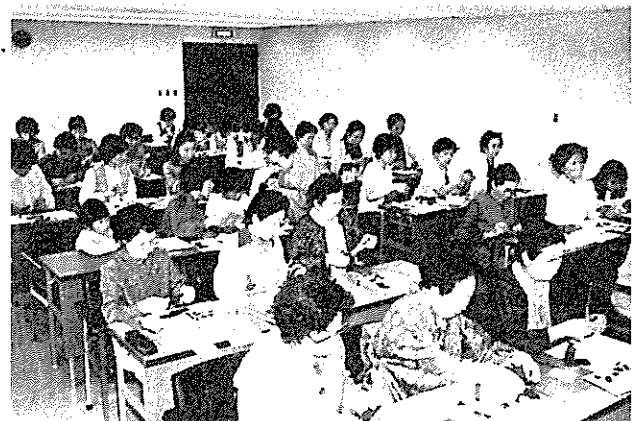
(2) 天体観望会・見学会など

事業区分	月 日	事 業 名	会 場	講 師	参加者
天 体 観 望 会	4. 19(土)	春の星座観望会	本館前庭	本館学芸員	46 [^]
	7. 19(土)	夏の星座観望会	〃	〃	43
	11. 1(土)	秋の星座観望会	〃	〃	10

事業区分	月 日	事業名	会 場	講 師	参加者
見学会・採集会	5.10(土)	野鳥の声を聞く会	鳥取市	本館学芸員 他	36人
	6.1(日)	自然と歴史を訪ねる会	国府町	本館学芸員	40
	7.12(土)	窯元見学会	岩美町	〃 他	48
	8.3(日)	地質見学会	日南町	〃	13
	9.12(金)	虫の声を聞く会	鳥取市	〃	45
	11.3(月)	紙すき見学会	青谷町	本館学芸員	21
標本の名前を調べる会	8.22(金)	標本の名前を調べる会	本館会議室	〃 他	210
講 演 会	5.5(月)	楽しい人形の話	本館講堂	本館学芸員	40
	7.13(日)	近世因伯の産業—木綿生産の発達—	〃	同志社大学教授 岡 光夫	123
	10.12(日)	博物館の現状と課題	〃	本館館長	6
	10.19(日)	日本の洋画と関西の洋画	〃	京都市美術館 学芸課長 原田平作	43
	11.8(土)	地震予知は可能か—山陰地方について—	〃	鳥取大学助教授 西田良平	32
	3.14(土)	鳥取市と周辺の変ぼう	〃	本館学芸員	23
講 座	5.11(日)	人形作りの講習会(面かぶり人形)	本館会議室	郷土玩具製作者 田中宮子	25
	5.18(日)	〃 (姉さま人形)	〃	〃 吉村秋香	40
	6.21(土)	春の土曜講座 砂丘と昔のくらし	〃	本館学芸員	19
	〃	〃 鳥取砂丘に生息する鳥と昆虫	〃	〃	
	〃	〃 鳥取砂丘の植物	〃	〃	
	6.28(土)	〃 鳥取砂丘の形成史	〃	〃	15
	〃	〃 砂丘地の農業開発	〃	鳥取大学砂丘利用 研究施設施設長 佐藤一郎	
	10.25(土)	秋の土曜講座 伊谷賢蔵の人と作品	〃	洋画家 尾崎悌之助	16
	11.1(土)	〃 関西洋画の流れ	〃	本館学芸員	10
	10.26(日)	郷土史講座 鳥取藩政の諸問題	本館講堂	鳥取大学教授 河手龍海	103
	〃	〃 鳥取藩の存方支配	〃	鳥取教育文化財同 調 査 員 坂本敬司	
	〃	〃 鳥取藩近世初期の借米制度	〃	鳥取県史編さん室 主 幹 浜崎洋三	
	〃	〃 藩政史研究の現状と課題	〃	鳥取女子短期大学 教 授 松尾陽吉	
講座(小・中学生)	8.10(日)	親と子の博物館野外教室	若桜町	本館学芸員 他	154
映 写 会	8.24(日)	地層、熱砂の悪魔アリジゴク			84
	11.16(日)	日本のあけぼの、落折の仏送り、江原の虫送り			26
	3.15(日)	南蛮文化の伝来と受容、私達の美術館			35
合 計(天体観望会 99人 見学会 203人 標本の名前を調べる会 210人 講演会 267人 講座 382人 映写会 145人)					1,306



講演会 (近世因伯の産業)



人形作りの講習会

(3) 資料貸し出し

貸し出し先	期 間	資 料 名	備 考
和歌山県立近代美術館	55.9.17～ 11.10	絵画「立てる子供」「西洋婦人像」など7点	1930年協会の作家たち展
倉吉市立博物館	10.15～ 11.21	絵画「棟梁の家族」「少女坐像」など7点	前田寛治展
〃	11.18～56.1.31	ヒキリウス、タカハリなど10点	火の文化展
鳥 取 市	11.25～56.3.20	あ ゆ み	ブロンズ製作のため
倉吉市立博物館	56.2.23～ 4.4	鏡板、勾玉など 62点	発掘された古代の伯耆と因幡展

5. 調査研究活動

調査研究

分 野	事 項
地 学	<ul style="list-style-type: none"> ●岡山県北部に分布する備北、勝田層群の化石について調査し資料整理をした。(所蔵目録25) ●山陰地方の第三系に含まれているマングローブ貝類について調査研究した。(研究報告18号)
動 物	<ul style="list-style-type: none"> ●昆虫標本を分類整理した。(所蔵目録26) ●鳥取砂丘の砂浜植物に生息する昆虫類について調査研究した。(研究報告18号)
植 物	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取県内のスミレ属植物について調査研究した。(研究報告18号) ●鳥取県沿岸の冬期間における海藻類と鳥取市楞谿公園のキノコを収集し同定を進めた。
考 古	<ul style="list-style-type: none"> ●因幡地方の中世陶器について調査研究した。(郷土と博物館第26巻1号) ●砂丘周辺(白兔・身干山砂丘)の中世遺物を調査研究した。(研究報告18号)
民 俗	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取県内の民俗文化財分布調査をした。(文化庁の補助事業) ●大山地域の特徴的な民俗行事を調査した。
美 術	<ul style="list-style-type: none"> ●常設展、特別展に関する基礎資料として、鳥取県内の関係美術資料の調査と調書の作成をした。 ●資料収集のため資料の所在調査をした。 ●「関西洋画の名作展」について調査研究し展示した。 ●56年度特別展「近世の衣裳美」について調査研究した。
史 料	<ul style="list-style-type: none"> ●56年度特別展「県政100年記念展」に関する史料調査をした。 ●池田家史料の目録基本カード作成について研究した。 ●近世の本綿関係史料と平井家文書の調査研究をした。 ●武道関係史料の調査と史料収集をした。 ●箕浦文庫、堀文庫の整理をした。

研究報告書等の刊行

名 称	規 格	ページ数	部 数
年 報 No.8	B 5	30	500
郷 土 と 博 物 館 第26巻1号	A 5	32	1,000
〃 〃 2号	〃	28	1,000
大 山 と そ の 周 辺 (鳥取県の自然と歴史3)	〃	50	1,000
所 蔵 目 録 25(化石資料目録6)	〃	46	500
〃 26(昆虫類目録(3))	〃	20	500
研 究 報 告 第18号	B 5	56	500
資 料 調 査 報 告 書 第8集 (平井家文書)	〃	20	500
博 物 館 だ よ り (No.8～No.11)	〃	各4	各2,000